

令和7(2025)年3月6日 環境森林部環境保全課

1. 経緯等

- 有機フッ素化合物※の一部である「PFOS（ピーフォス）」及び「PFOA（ピーフォア）」は、各地で河川水や地下水等での暫定指針値（PFOSとPFOAの合算値 50 ng/L）の超過が確認され、全国的な問題となっている。
- 県内においては、宇都宮市、真岡市及び下野市の地下水で暫定指針値の超過が確認され、下野市では水道水でも超過が確認されている。
- 県では、県内全域の実態を把握するため、今年度、河川12地点、地下水11地点で調査に着手している。

※ 有機フッ素化合物は1万種類以上あるとされており、熱に強く、水や油を弾く等の性質があることから、これまで様々な用途で使用されてきた。その一部であるPFOSやPFOAは発がん性等が指摘され、既に製造等が禁止されたが、自然環境の中では分解されにくく、長期に残留する性質がある。PFOS及びPFOAには水道水や地下水等の指針値等が定められており、令和8(2026)年4月に水質基準項目（水道において検査義務及び基準値の遵守義務が生じる）に位置づけられる予定である。

2. 調査地点

【河川】：広い流域を把握できる12地点（図1）

【地下水】：令和6(2024)年度地下水質常時監視概況調査地点のうち11地点（図2）

3. スケジュール

- 採水 2月12～19日
- 結果判明・公表 3月下旬予定（県HPに掲載）

4. 令和7(2025)年度の予定

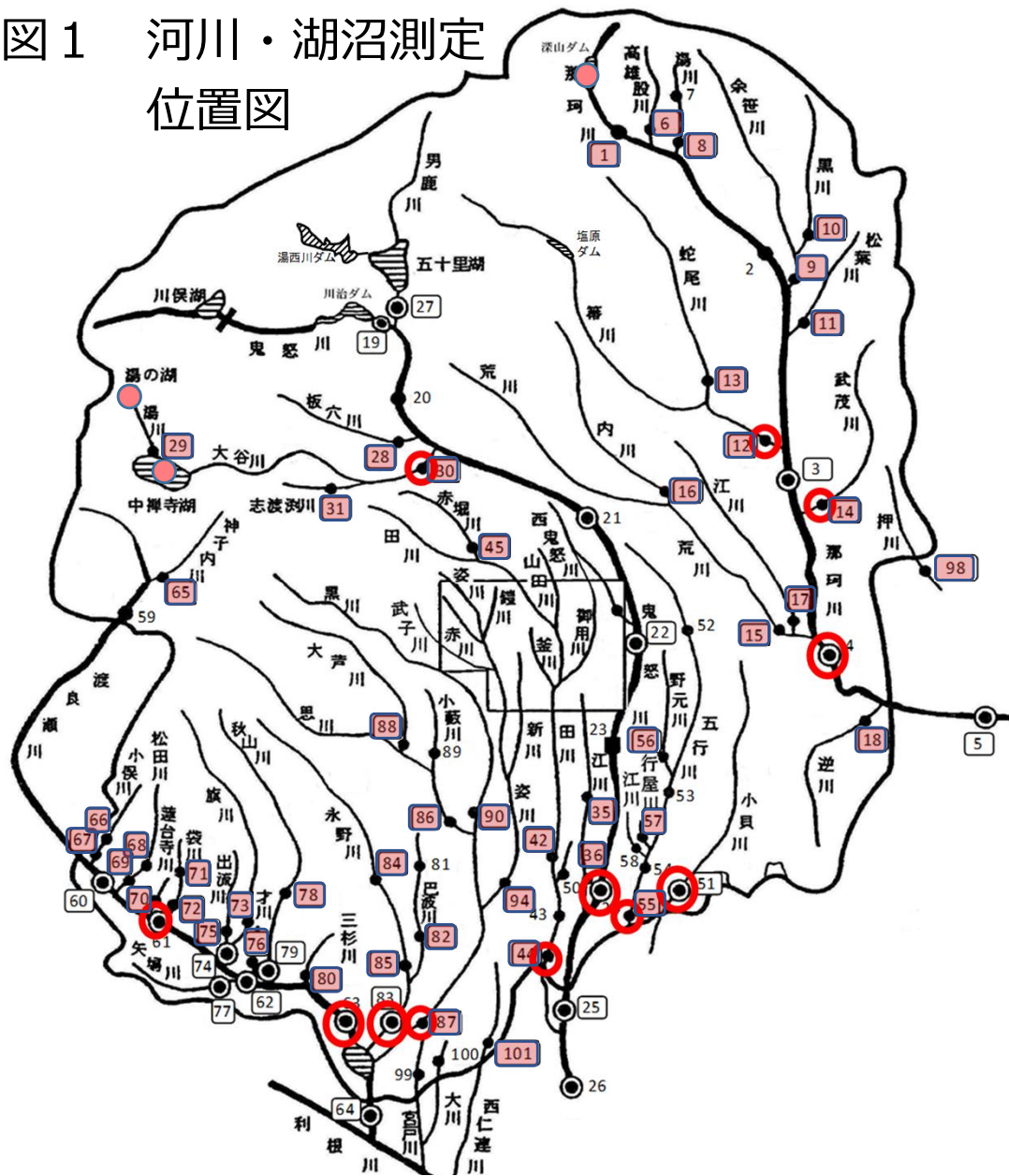
・実態調査

公共用水域：県測定の実態基準点（河川48地点、湖沼3地点）で調査

地下水：令和7(2025)年度地下水質常時監視概況調査地点（43地点）で調査

- ・令和6(2024)年度及び令和7(2025)年度の実態調査結果を踏まえ、令和8(2026)年度水質測定計画に位置づけるかを検討

図1 河川・湖沼測定位置図



【公共用水域常時監視地点 凡例】

- : 栃木県測定地点(62 地点)
- ⊙ : 国土交通省測定地点(20 地点)
- : 環境基準点(66 地点)

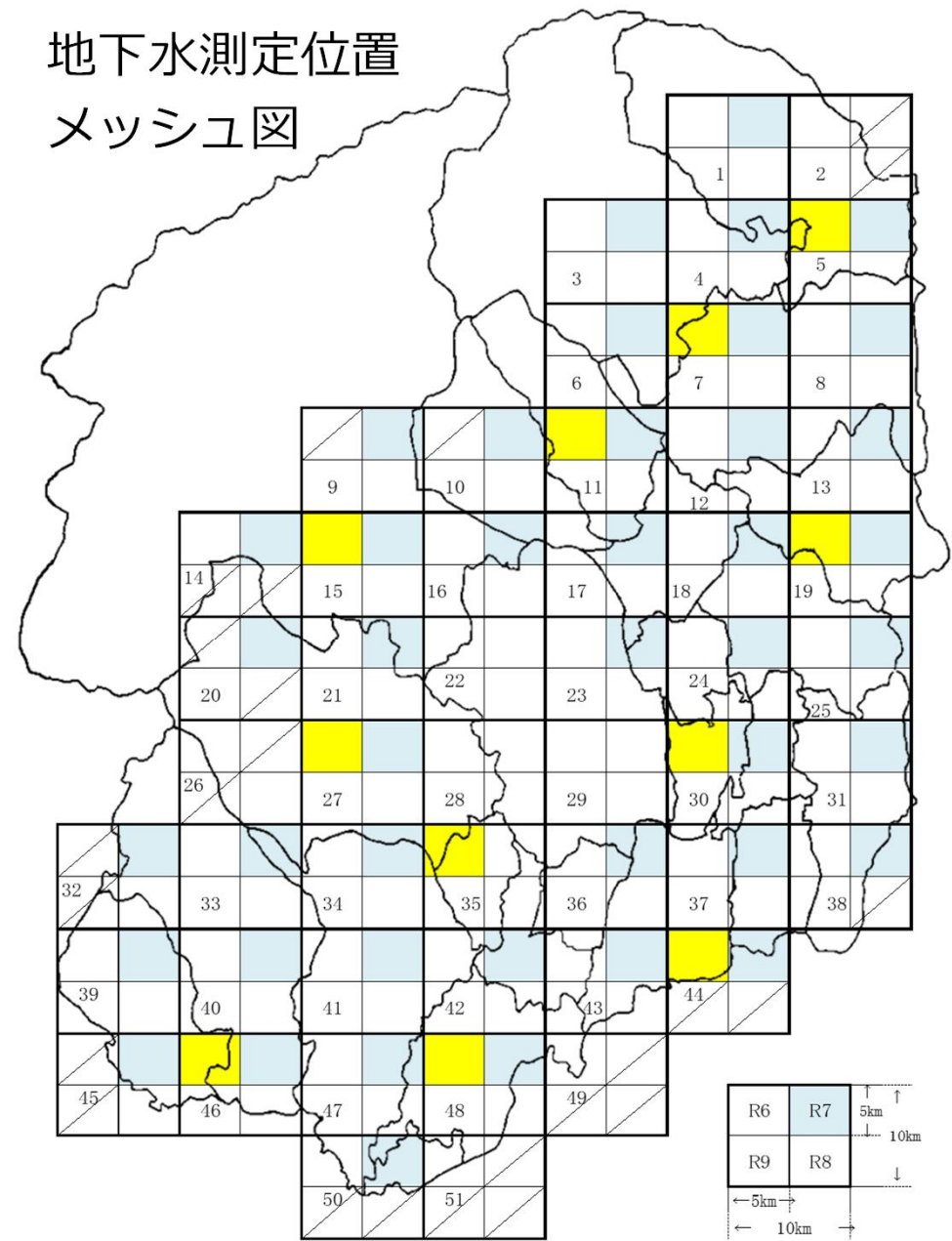
R6年度実態調査地点

(○ 河川 : 12地点)

R7年度実態調査予定地点

(□ 河川 : 48地点 ● 湖沼 : 3 地点)

図2 地下水測定位置メッシュ図



R6年度実態調査メッシュ

(■ 11地点)

R7年度実態調査予定メッシュ

(■ 43地点)